

しらふじ



健診できめ細やかな指導を心掛ける堀江名誉院長

第84号
平成29年11月20日
発行／更生保護法人
しらふじ
発行責任者／吉長義親
編集責任者／松本英史

「しらふじ」訪問記

島根県済生会江津総合病院

堀江 裕名誉院長

更生保護施設「しらふじ」の訪問健診を始めて早いもので7年になります。済生会の草創期から今までの道のりをたどりながら、どうして訪問健診を始めることになったのか、どんな思いで診療を行っているのか、利用者の病気の傾向は—などについて書かせていただきます。

美智子皇后陛下がそれぞれ総裁となつて運営されています。

日赤の主な仕事は、ナイチンゲールの精神で災害時の支援や血液の管理、募金活動など。一方の済生会は、明治44年2月11日発令の済生勅語で貧しい恵まれない人々に対して、手を差し伸べるという社会的使命を担つて運営されています。その設立の精神に鑑み、刑務所を訪問したり、今回の健診事業をすることは「なでしこプラン」として、とても大切な事業と考えられています。

「しらふじ」への無料健診事業は平成22年度にスタートしました。それでは、その経緯を説明します。

「訪問診療のきっかけ」

話は明治時代にさかのぼります。社会法人済生会は明治44（1911）年に、日本赤十字社（日赤）は同23（1890）年に、ともに皇室の援助のもと発足したことはあまり知られていません。済生会は皇室の男性が、日赤は皇室の女性がそれぞれ総裁となり、現在済生会は秋篠宮殿下が、日赤は院長時代にこのプランは始まりました。当初は

年に2、3回の頻度でしたが、平成28年度からは年3、4回の健診事業となり、今日に至っています。足掛け7年の事業になりますが、その間に古くなつた施設の全面改築が平成25年に行われ、松江市のホテル白鳥であつた記念祝賀会に西尾さんとともに出席させていただく名譽に預かつたことをよく覚えています。

早朝から半日かけて健診

「健診メンバー」

健診のメンバーは看護師、検査技師、事務職員、医師、医療ソーシャルワーカーの5人で編成され、医師は中澤芳夫院長がレギュラー、小生はピンチヒッターとしてお邪魔しています。

朝6時過ぎに江津を出発し、国道9号を一路東に走り2時間半かけて9時前には「しらふじ」に到着。すぐに健診をスタートし午前中で終えて帰途につきます。

「健診内容」

受診者さんは1回に10～15人。身長、体重、胸囲、血圧測定と採血、検尿、血液生化学的検査（尿酸、コレステロール、ガンマ-GTP、AST、ALT、中性脂肪）と、問診作業を

2時間程度かけて行います。健診後に専門病院への診療先を紹介するのも大事な仕事の一つです。特に「しらふじ」に入つて出られるまでに、刑務所のバランスのとれた食事から、自由に飲み食いでくる環境に変わることによって、ほとんどの方が短期間に体重が元

に戻る傾向があり、食事と運動の確保がとても大事な生活指導になっています。

さらに肝炎や高血圧、糖尿病、痛風、脂肪肝などの生活習慣病といわれてきた疾患を持つ人が多く、それらは循環器や消化器内科医である私たちの専門分野ですので、具体的な解決方法をきめ細かく指導させていただいています。

ギャンブル依存症が増加

「最近の傾向」

従来はメタボ症候群（腹囲、糖尿病、高血圧、脂質異常症）や隠れたらうつ気分の方も見られたのが特徴でしたが、最近はギャンブル依存症であるパチンコや競馬、競輪依存の方が、従来主体であったアルコール依存症とともに増えてきているといわれています。

それと、忘れてならないのは高尿酸血病で痛風準備状態の方が、知らない間に腎硬化症という慢性腎臓病に罹患しているのも見落とせませんので、尿酸値の重要性を付け加えるのも忘れないようになります。



しらふじ新築後、初めての訪問健診。玄関前で(前列右が堀江名誉院長)

訪問健診を本部も注目 「済生会への広報」

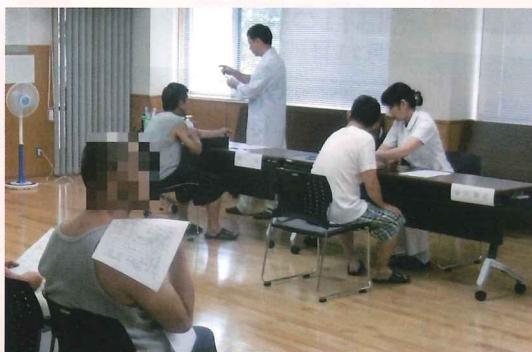
□真理子看護師長が「更生保護施設で無料健診」と題して報告しました。片道2時間半をかけて訪問し、新築の香りがする第8回目の健診の様子を全国発信しました。その中で、谷口さんは当施設での健診後のフォローが他院で行われるため、相談のファイードバックができないことを残念がっていました。

更生保護施設への訪問は、

済生会の本部からも注目されている健診事業であり、継続する」とが大切だと、職員一同感じています。

「最後に」

社会への更生事業は地味な取り組みですが、県内で1カ所だけある貴施設が長年にわたって更生事業を継続されてきたことに尊敬と敬意を払いたいと思います。「多様性の社会」という言葉がさまざまなかつて叫ばれています。高齢化社会を迎えて未経験な世界が広がっています。「しきふじ」のますますのご貢献を願つてやみません。



平成29年8月27日にあった健診。10人が受診しました



利用者を問診されている中澤芳夫病院長

【利用者の声】

初めて訪問しましたが、その際に社会復帰された方から施設に届いた手紙を拝見し、感銘を受けました。私たちの訪問が社会復帰において必要な健康管理につながることを知り、これからも支援させていただきたいと思います。

(看護師・津枝 忍さん)

無料健康診断事業に2年近く参画させていただいています。皆さんから採血させていただいた血液、尿検体を江津まで持ち帰って検査し、結果を報告しています。皆さんの社会復帰への一助になれば幸いです。

(検査技術科・恒松 巧さん)

スタッフの声



「社会復帰の一助になれば」と健診を続けるスタッフ
(前列右が小川美和子さん、同左が持田淳子さん、後列右が津枝忍さん、同左が恒松巧さん)

自立生活に向けての準備期間に健康管理の大切さを知ってもらい、生活基盤を整えることで社会復帰が果たせる、その一助になれるよう今後も支援を続けていきます。(医療ソーシャルワーカー・小川美和子さん)

日々の体調のことはあまり気にしていませんでしたが、年を取るごとに体のあちこちが弱ってきていると感じ、父母が言っていたことの意味がやっと理解できるようになりました。この度は、先生に言われたとおりに皮膚科に行き、塗り薬をもらつてきました。続けて治療したいと考えています。
遠いところお越しいただいた上、とても親切にしていただき感謝しています。(T・Rさん)

遠方から来ていただき本当にありがとうございます。自分は健康で病気をしないと思っていても、いつどんなことが起こるかわかりません。自分から健診を受ける機会はない中、年に何度も健診に来ていただけのことは本当にあります。

これから先、まだまだ家族を守っていかねばなりません。いつまでも家族みんなが元気でいてほしい。私もいつまでも健康で元気でいたい。そう願う毎日です。（J・Hさん）

追悼！

福田和夫前理事長
／施設全面改築への
熱き思いをしのんで～



理事長
吉長義親

去る8月10日、当法人前理事長福田和夫さんが94歳で逝去されました。福田さんは、当法人の役員として平成8年から評議員、理事、副理事長の要職をお勤めでしたが、平成17年景山一彦理事長の任期半ばでの病気急逝により、理事長となられました。

福田理事長は、既に老朽化していた島根更生保護会の施設全面改築への景山元理事長の強い思いを全面的に受け止め、就任早々建設準備委員会を設立し、部会の設定（総務・資金・建設・地域）などの体制づくりに入られました。大事業を目指して慎重かつ展望をもつた多角的な視点からの布石でした。

「改築が認められてから準備に入つては遅いからね！」とのつぶやきを忘れません。

平成24年、国から改築決定の通告があるや否や、会の名称を建設委員会に切り替え、役員研修・先進地視察や情報取得に努め、資金調達活動に東奔西走。地元町内会との綿密な連絡を徹底し、利用者一人ひとりの心地よい生活を願い、将来の入所者のことについてをはせて、高齢者、障がい者のための部屋の設計を計画に入れた先見の明を持った設計に努め、豊かな人脈とネットワークにより、行き届いた配慮で工事や活動を順調に進められました。

50歳近くなつて初めて健診を受けました。自分の体について考えたことはなく、身長や体重以外には何がどうなつてあるのか知ることもありませんでした。しかし、これから一般社会で生活していくには必要なことですので、これを機に定期的な健診を受けようと思っています。本当にありがとうございます。（K・Hさん）

しかし、竣工目前の春になつて病気入院、私が直接陣頭に立つことになりました。病院に再三再四足を運び報告連絡に努めました。いつも優しい気遣いと綿密で的確な指示をいただきましたので、自信をもつて業者との協議や指示ができました。幸い「礎石」や「門柱」も力強い筆跡の揮毫をいただけましたので、その気力には驚かされました。竣工・落慶の式典にはお元気な姿でございました。幸いに、さついたことがつい昨日のことのように思われます。

当施設の歴史的大事業を急速引き継がれながら見事な完成を見たのは、福田さんの熱意はもとよりその人望にあつたと確信しています。温厚篤実な人柄、悠揚迫らぬ風格、慈愛の眼差しで接しておられた姿、人に応じ機に応じてのご教導による人望だったのではないか…

穏やかなお話しぶりから、含蓄のあるお言葉をいただいたことは有難いことでした。今日、更生保護施設も新しい時代を迎えていきます。最新の施設「しらふじ」に多くの利用者の方を迎え、福田さんのご労苦に報いたい

ご冥福を祈りつつ…



来訪者

〔敬称略〕

- ◆ 大阪矯正管区 矯正就労支援情報センター室
〔コレワーク西日本〕古市浩司室長他 1名
- ◆ 松江地区更生保護女性会白潟支部
益田児童相談所青木所長
- ◆ 松江地区更生保護女性会雜賀支部
奉仕作業 5名
- ◆ 二水会 6名
- ◆ 佐田地区更生保護女性会
西伯郡南部町(保護司、更女) 15名
- ◆ 松江地区更生保護女性会白潟支部
奉仕作業 3名
- ◆ 松江地区更生保護女性会朝日支部
奉仕作業 4名
- ◆ 江津地区更生保護女性会來訪(研修)
浜田地区保護司杉田雅弘氏 23名
- ◆ 中国地方更生保護委員会委員長
松江地区更生保護女性会津田支部
- ◆ 奉仕作業 5名
- ◆ 芙川地区更生保護女性会視察 40名
- ◆ 八束地区更生保護女性会 2名
- ◆ 出雲地区保護司会視察 8名
- ◆ 松江地区更生保護女性会竹矢支部
奉仕作業 2名
- ◆ 司法修習生研修
司法修習生 5名
- ◆ 小野 修三(慶應義塾大学出版会)/本
◆ 佐田地区更生保護女性会/お米、衣類、毛布
◆ 松江地区更生保護女性会白潟支部/洗剤、タオル、お茶ほか
◆ 大野 美雄/作業着
◆ 西尾 聰/衣類
◆ 佐々木 滋子/野菜の苗
◆ 橋本 道子/花
◆ 井谷 耕造/作業着
◆ 吉野 光徳/野菜
◆ 舟越 憲雄
◆ 家島 効史
◆ 松江地区更生保護女性会法吉支部(長岡
◆ 美和恵)

寄付金

〔敬称略受付順〕

- ◆ 芙川地区更生保護女性会
西伯郡南部町(保護司、更女) 15名
- ◆ 松江地区更生保護女性会白潟支部
奉仕作業 3名
- ◆ 松江地区更生保護女性会朝日支部
奉仕作業 4名
- ◆ 江津地区更生保護女性会來訪(研修)
浜田地区保護司杉田雅弘氏 23名
- ◆ 中国地方更生保護委員会委員長
松江地区更生保護女性会津田支部
- ◆ 奉仕作業 5名
- ◆ 芙川地区更生保護女性会視察 40名
- ◆ 八束地区更生保護女性会 2名
- ◆ 出雲地区保護司会視察 8名
- ◆ 松江地区更生保護女性会竹矢支部
奉仕作業 2名
- ◆ 司法修習生研修
司法修習生 5名

寄付品

〔敬称略受付順〕

- ◆ 松江地区更生保護女性会竹矢支部
坂本 圭祥
- ◆ 松江地区更生保護女性会白潟支部
栗原 啓悦
- ◆ 松江地区更生保護女性会白潟支部
今岡 克己
- ◆ 出雲地区保護司会
栗原 啓悦
- ◆ 生田 昌子
- ◆ 壱名(匿名) 田中 さとみ
- ◆ 古藤 美紀/野菜
- ◆ 金築 育代/食品
- ◆ 大庭更女北原/食品
- ◆ 匿名/衣類 電化製品
- ◆ 匿名/衣類 電化製品
- ◆ 匿名/寝具、長靴
- ◆ 田中 さとみ/日用品
- ◆ 古藤 美紀/野菜
- ◆ 金築 育代/食品
- ◆ 大庭更女北原/食品
- ◆ 匿名/衣類 電化製品
- ◆ 匿名/衣類 電化製品
- ◆ 匿名/寝具、長靴
- ◆ 陶山 和實/布団、毛布 ほか
- ◆ 中村 弘恵/衣類
- ◆ 恩田 祥雄/お米、野菜 ほか
- ◆ 原 利行/野菜
- ◆ 飯石地区更生保護女性会吉田支部/衣類
- ◆ 八束地区更生保護女性会/野菜
- ◆ 出雲地区保護司会/衣類他日用品多數
- ◆ 佐田地区更生保護女性会白潟支部/衣類
- ◆ 古川 豊
- ◆ 阪本 清
- ◆ 矢野 喜郎
- ◆ 江津地区更生保護女性会
◆ 古川 豊
- ◆ 松江地区更生保護女性会白潟支部
◆ 阪本 清
- ◆ 矢野 喜郎
- ◆ 古川 豊
- ◆ 佐田地区更生保護女性会
◆ 古川 豊
- ◆ 阪本 清
- ◆ 矢野 喜郎
- ◆ 古川 豊



入口のシラフジ、今年もきれいに咲きました

職員人事異動	
代替職員	橋下 忠夫/お茶
採用	浪花 秀明/餅、果物寄付
退職	高木 早苗/寝具、衣類
採用	高木 早苗/寝具、衣類
原	建田 浩一/野菜
利行	糸原 真喜子/お米
高宮	和教
福原	和教
将夫	和教
利行	和教

(いづれも平成29年1月~9月)

編集後記

今夏、所用でドイツに行つてきました。

松市を中心とした音楽愛好家たちがクラシックの本場・ドイツで演奏を披露するという、観光旅行とは一味違った内容の濃い旅でした。かの地の人たちと飲みながら語り合いまるほど美しい街の、また違った一面も見えてきます。

例えば、タバコの吸い殻。バッヤモーツアルトらが音符を思い浮べながら、詩人のゲーテが悩みながら歩いたであろう見事な石畳の道にタバコの吸い殻がやたら落ちているのです。石と石の隙間に入り込んで取りにくくがあるのでしたが、至るところ吸い殻だらけには興ざめし、美しい風景もくすんで見えてしましました。厳格で知られるドイツ人にして、この有様かとも…。

タバコの吸い殻がほとんどない松江って、いろんな意味で本当に美しいまちと改めて実感しました。松江に住む人たちの優しい心根、美意識が成せるものなんですから、もっともっと誇りをもつていいのです。(瑛)

施設の運営にご協力のお願い

施設や事業の充実のために物品や資金が必要です。そのためご寄贈をお願いし、会員・賛助会員を募集しています。会員と年会費は下記のとおりです。

- 賛助会員 2,000円以上
- 普通会員 5,000円以上
- 特別会員 10,000円以上
- 法人会員 20,000円以上

入金および
ゆうちょ銀行(口座番号) 01450-1-30366
寄付金振込先
加入者名 更生保護法人しらふじ

会員の募集

詳しいことは、下記までおたずねください。
更生保護法人しらふじ 松江市奥谷町306-1
TEL 0852-21-5383 FAX 0852-67-5393
メールアドレス : shimanekouseihogokai@sage.ocn.ne.jp
H P アドレス : http://shirafuji-shimane.com

しらふじ 検索 でも検索できます。

写真アラカルト Photo A la carte

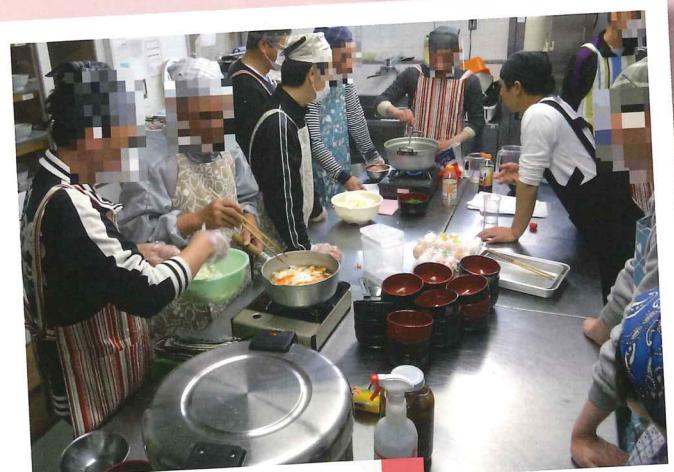


卓球大会
(1月3日)



そば打ち体験会
(6月11日)

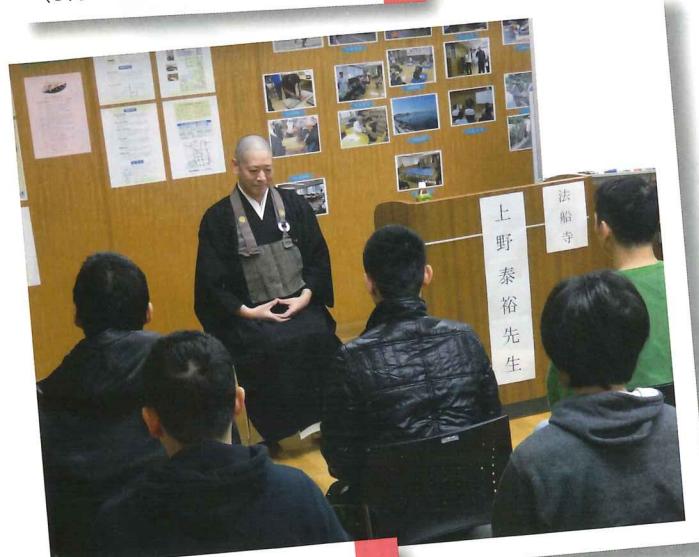
とても見よう見ま似的ではできるものではないな、何事も経験が大事なのだと感じました。(K・Uさん)



料理教室
(5月3日)



防火訓練
(3月12日)



法話の集い (法船寺上野先生)
(1月15日)



お月見会
(9月10日)